

11月5日は創立記念日

明治12年11月5日、本校（新田）・支校（学生）が設置されました。だから創立記念日です。古いアルバムにはいろいろな写真が残っています。その歴史的価値にびっくりしています。

右の写真には「多田尋常高等小学校第一回卒業●」とあります。ここで高等小学校というものが設置されたのが明治19年4月のため、この写真は明治19年から20年のものとなります。あわせてこの年から学級制が始まっています。

（「稽古照今」多田小創立百周年記念誌より）それまでは等級制のため、小学校でも試験による落第があったのです。今

では信じられない制度ですが、学級担任制も明治24年以降に制度改正が進んでいったようです。今とは異なる小学校制度があったのだとわかります。様々な改革の積み重ねが現在の多田小学校を作ってきたということでしょう。歴史の重みを感じる1枚の写真です。

参考文献）明治期における等級制から学級制への移行をめぐる論調 杉村 2015



「ずるい」？

学校で時々聞こえてきます。「あの子だけずるい！私は我慢してるのに！」といった感じです。ご家庭でも聞こえてこないでしょうか。宿題のことだったり、登校のことなどでこんな声が聞こえてきます。そんなとき、ずるいと言われている子どもを何とかしようとしがちなのがします。「宿題をしてこない子がいると他の子もしてこなくなる・・・。」そんな時代が随分と続いてきました。でもよくよく考えるとこれはおかしいことです。そもそも宿題とは罰なのでしょうか。いやいやさせられているという感覚が子どもたちにはあるということでしょうか。例えば「宿題をしないとゲームをしてはいけません！」「宿題を出さないと休み時間はありません！」という言葉は、宿題がどのようなものであるかを暗に意味づけています。とはいえ、宿題が苦痛（そうではない場合もありましたが）でもあったことは私たちの記憶にも強く刷り込まれてもいます。

さて、宿題も含め学ぶことは嫌なこと、もう少し言えば子どもたちにとって「義務」なのでしょうか。改めて考えるまでもなく、学ぶことは子どもたちにとって「権利」のはずです。義務は我々おとな側にあります。そのことを踏まえれば、学ぶかどうか子ども自身が選択をする必要もあるはず。させられる学びよりも自ら選ぶ学びがどれだけ心地よいかということですね。学校でもそんな関係ができれば楽しい学校になることなのでしょう。勉強をしないという選択は勧められるものではありませんが、時にはそんなことがあってもいいと思います。誰もそうできないときはあるはず。そんな姿をそっと支えられる人でありたいのです。

今後の予定について

10月31日現在 各学年の予定は学年だよりをご覧ください

こども運動会

10月27日（金）に実施しました。今年は、なんと多田幼稚園のみんなも参加してくれました。多田小の子どもたちも大喜びです。うれしいやさしい眼差しがいっぱいあふれました。途中で幼稚園に戻る予定でしたが、園児の皆さんも先生も結局最後までいてくれました。6年生の「そうらん」も一緒に踊っていました。とってもかわいい子どもたちです。そんな幼少連携がとってもいい感じでした。来年もできるでしょうか？楽しみです。



※ お知らせ

学校の電話は、朝7時45分～午後5時30分まで応答できるように調整しています。教職員の勤務時間8時～午後4時30分とのずれが存在しています。今年度、勤務時間以降での着電はほぼない状態にあります。そこで、11月より応答時間をできるだけ勤務時間と整合するように下記の通りに変更しますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

留守番電話設定時間 午後4時30分～午前7時45分